

コード No. 18791

Anti-RET Finger Protein (RFP) Rabbit IgG Affinity Purify

容量 : 100 µg

-
- はじめに** : RET finger protein (RFP)は RET がん原遺伝子の活性化に関与する DNA 結合性タンパク質で、RING finger, B-box, Coiled coil よりなる特徴的構造をもっています。RFP はヒトおよびマウスの腫瘍細胞株および精巢で高発現し PML との共存も認められますが、その機能は依然不明です。Yeast two hybrid 法で RFP 結合タンパクとしてポリコム遺伝子 Enhancer of Polycomb (EPC)が同定、RFP は核内においてエピジェネティックな転写抑制機能に関与する分子であると考えられています(文献 1)。
- 免疫抗原** : RFP の C 末端部分合成ペプチド (IDGFSGHVGNGHGHSMETSP)
- 精製方法** : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態** : 1% BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法** : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性** : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法** : 免疫組織染色 5~10 µg/mL にて使用可能 (ホルマリン固定、パラフィン包埋切片 ; マイクロウェーブ処理(クエン酸緩衝液、pH 6.0、10 分間))
: 免疫細胞染色(蛍光染色) 0.1~1 µg/mL にて使用可能(文献 1)
: ウェスタン・ブロッティング 1~5 µg/mL にて使用可能
: 免疫沈降法 約 2 µg/test にて使用可能(文献 1)
- 特異性** : ヒト、マウスの共通部分ペプチドを抗原としています
- 参考文献** : 1. Shimono Y, Murakami H, Hasegawa Y, Takahashi M. RET finger protein is a transcriptional repressor and interacts with enhancer of polycomb that has dual transcriptional functions. J Biol Chem. 2000 Dec 15;275(50):39411-9.
2. Tezel G, Nagasaka T, Iwashita N, Asai N, Iwashita T, Sakata K, Takahashi M. Different nuclear/cytoplasmic distributions of RET finger protein in different cell types. Pathol Int. 1999 Oct;49(10):881-6.